

# 生涯学習 だより

2020年4月1日 発行  
第71号  
目次

- 1. 伝えよう！府中の魅力
- 2. 伝統文化をつなぐ取組み
- 3. 学びを楽しむ・学びを支える
- 4. ふちゅう東西南北

## 「くらやみ祭」だけじゃない！ 伝えよう・広げよう・府中の魅力

### あなたは府中をどのように伝えますか？

東京オリンピック・パラリンピックを機会に府中を訪れる親せきや友人。あなたは府中の魅力をどのように伝えますか？ 武蔵国の中心としての歴史、くらやみ祭に代表される伝統文化、昨年盛り上がった「ラグビーの街・府中」など、話の種は様々ありますね。この機にいろいろな魅力を調べて、広く伝えていきましょう！

### こうして学ぼう！調べよう！

◆「歴史は学ぶものではなく旅するものです」どこかで聞いたセリフですが、武蔵国の中心としての歴史を知るなら「市内観光ミニツアー」がお勧め。毎週木曜日と毎月第一土曜日の午前10時から約2時間の街歩きで、観光ボランティアガイドが無料で案内してくれます。起点は大國魂神社交番横の府中市観光情報センター。大國魂神社や中世の府中を詳しく知るには手軽に参加できて、往時の事がよくわかります。

### ◆歴史や郷土資料に関する質問をしよう！

古代国府を中心とした市の歴史や文化に関して詳しく知るなら「ふるさと府中歴史館」の国府資料展示室（1階）がお勧め。遺跡の発掘調査の成果が分かりやすく展示されています。歴史館は大國魂神社の境内にあり、くらやみ祭の映像紹介コーナーもあります。2階の公文書史料室では、専門の職員が、府中の歴史や郷土資料に関する質問に丁寧に答えてくれます。また「100年前の今日の新聞コーナー」では100年前の同月同日付の新聞を日替わりで展示しています。

◆ジオラマ展示で「へ〜、そうなんだ！」と納得 古代から現代までの府中の歴史や伝統文化を学んでみたいなら「郷土の森博物館」がお勧めです。ちょっと遠いような感じがしますが、ちゅうバスで行けば、分倍河原駅から徒歩。歩いて行っても20分位の道のりです。府中駅発のちゅうバスもあります。博物館には府中の歴史や伝統文化、宿場町府中のジオラマなど楽しい展示が満載で、1日中いても飽きません。

### ◆ビジュアル版府中市史、分かり易くお土産に！

府中の歴史を6カ国語で紹介している「武蔵府中 まちの歴史物語」(府中市刊)は、時代の特徴がよくわかるイラストや写真が多く載っていて、古代〜近現代までの歴史を手軽に知ることのできる冊子です。中でも、現在の地形に古代、中世、近世、近代の道を重ねた地図は一見の価値あり！1冊500円で頒布中。海外土産にも最適です。



●表紙写真●  
くらやみ祭の万灯大会

### 伝統をつなぐ取組み(1) くらやみ祭を盛り上げる「萬燈大会」

もうすぐ5月、毎年恒例のくらやみ祭の季節がやってきます。神輿渡御がメインですが、一連の行事のなかで、今回表紙で取り上げた「萬燈(万灯)大会」も人気です。そこで、この大会を主催する大國魂神社青年大祭委員会の滝島文一会長にお話を伺いました。

### またこの大会も、13の各町本)に関連2団体

2〜3か月を要しますが、16才以上の各町会青年会が、見栄えを考えて設計図を作り、少しずつ進めていくことですので、工夫を凝らしていかにも良く見せようとするのが、一層大切なことかも知れません。今年はオリンピックの年であり、どんな万灯が出現するか会長のお話で初めて知ったのですが、万灯は演技の当日に組立て、パレードなど行事を終えたら、その日の内に解体するそうです。この日まで仕事や学業の合間を縫って時間をかけ製作に関わってきた女性会員や青年会員にとっくは、5月4日の萬燈大会は、丹精こめた万灯を神々しく一日だけ披露し、みんなで盛り上がる、大変貴重な一日だったのです。(記:渡邊繁雄)



### 喜びを楽しむ・学びを支える その① 野外活動体験が子どもの生きる力になる!

「ボーイスカウト府中第6団」副団長 上山公子さん  
ご自分のお子さんが小さな時からボーイスカウトの活動のお世話を始め、長年日さんにも関わっていただきました。同じ目線で体験した。男の距離感がなかなかあるのですが、話題が生まれるようになっていくことになったですね。子どもたちの成長を見守っていることが楽しく、協力してスカウト活動が大好きで、今も喜んで役を担っています。



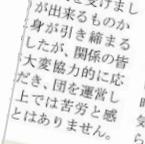
### ふちゅう東西南北

今回の作品巡りは、集合しやすい府中駅を起点として、市役所、下河原緑道から新田川緑道、郷土の森公園までを、アートとの出会いを求めて歩いてみました。帰りは分倍河原駅経府中駅までちゅうバスが利用できます。(渡辺、奥野、鈴木、井口、桑田、中井、山田)



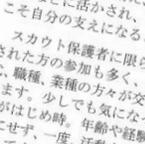
### アート作品巡り2 府中駅〜郷土の森公園

「作品1 多摩多岐」  
可貴な作品が、鳥の印象があまり感じられませんが、まっすぐな道に分岐して以前東京競馬場の駅につながっていた鉄道の名残です。新道の下を左手にビール工場の積荷が見えます。工場のような風景を見ている内に、「そよ風」の少女像が見えました。



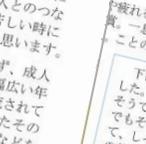
### 作品2 友愛の像

「作品2 友愛の像」  
府中市の平和に対する思いが表現されている作品に見えました。



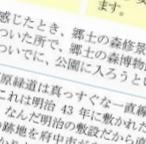
### 作品3 日暮橋子

「作品3 日暮橋子」  
ひだまりの風を感じているような爽やかな少女像、緑道を歩いてみたくなり



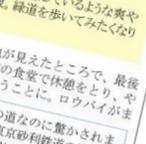
### 作品4 武蔵府中

「作品4 武蔵府中」  
武蔵府中の歴史や文化を学んでみたいなら「郷土の森博物館」がお勧めです。



### 作品5 武蔵府中

「作品5 武蔵府中」  
武蔵府中の歴史や文化を学んでみたいなら「郷土の森博物館」がお勧めです。



### 作品6 武蔵府中

「作品6 武蔵府中」  
武蔵府中の歴史や文化を学んでみたいなら「郷土の森博物館」がお勧めです。



下河原緑道は真っすぐな一直線の道なのに驚かされた。これは明治43年に敷かれた東京東武鉄道跡地だ。その跡地を府中市が自転車、歩行者専用の緑道として、しっかりと整備したことは素晴らしい！寿町5丁目から南4丁目までの緑道まで、市役所によれば3,513.5メートルだそうです。(記:鈴木清治)

企画・編集: 府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」  
共同発行: 府中市文化スポーツ部文化生涯学習課  
府中市生涯学習センター  
〒183-0001 府中市浅間町1-7 Tel 042-336-5700  
ホームページ: <http://fuchu.shoshaikakushu.jp/>